

【はじめに】

本校は昭和47年、市内で4番目の東久留米市立中学校として開校し、令和4年度には50周年行事を行い、6年度は53年目を迎えています。

生徒・教職員・保護者・地域社会の方々が力を結集させ築き上げた本校の伝統と、教育活動の成果を継承しながら、生徒の実態を踏まえるとともに、大きく変化していく社会情勢を見据え、学校としての教育力をさらに向上させるよう、以下の方針をもって学校経営に取り組みます。

【1】 基本的姿勢・教育目標

学校経営のための基本的姿勢

**生徒一人一人に
自らの幸せな未来を切り拓く力を育てる**

この基本的姿勢をもち、「『愛』『勉学』『自主性』『健康』」の教育目標を掲げ、以下の「学校像」「生徒像」「教師像」の実現を目指します。

なお、本校の4つの目標の意味については、これからの時代に大きな変化が予想される社会、そこで生徒が将来直面するであろう課題に対応できる力を育成するという視点から、次のように捉えます。

『愛』 =自分とともに他者を大切にする力、豊かな人間性

『勉学』 =知識・技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力

『自主性』 =新しい自分の可能性に挑戦し、よりよい社会を目指そうとする力

『健康』 =自分の心と身体の健康を把握し、その保持増進を目指す力

【2】 目指す学校像・生徒像・教師像

○ 目指す学校像

- (1) 生徒に生きる力(豊かな人間性、確かな学力、健康と体力)を育む学校
- (2) 生徒の自己肯定感を高め、個性を尊重し、一人一人の可能性を伸ばす学校
- (3) 保護者や地域社会の期待に応え、地域社会との多面的な連携と、生徒と教師の

信頼関係に基づく教育が行われている学校

○ 目指す生徒像

- (1) 目標に向かい主体的に学び考え行動する生徒
- (2) 社会の中で自分の役割や責任を認識し、そこでの自己肯定感をもつ生徒
- (3) 心と身体の健康を大切にし、自分の可能性に挑戦する生徒
- (4) 多様性を認め、よりよい未来の社会を創造しようとする生徒

○ 目指す教師像

- (1) 授業を大切にし、生徒一人一人の力を伸ばさせるため、常に授業力の向上を目指す教師
- (2) 厳しさと温かさを兼ね備え、生徒一人一人の個性や可能性を伸ばすとともに、生徒に社会人としての範を示す教師
- (3) 生徒、保護者や地域社会の期待に応え、厚い信頼を得られる教師

【3】 令和6年度の重点

- 1)校内環境の確認と整備（安全・情報管理）
- 2)確かな学力（指導の工夫と適正な評価）
- 3)地域連携と外部人材の活用による教育活動の充実（市内他校に提起できる取組）
- 4)国際感覚の醸成
- 5)ICT機器の効果的な活用
- 6)社会変化への適切な対応
- 7)不登校増加への対応（いちょう教室・登校支援巡回教員）
- 8)ライフワークバランス向上のための取り組み